

第17期

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|-------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2007年8月30日から、原則として無期限です。 | |
| 運用方針 | 新興国国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EEM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマーGING・マーケット）ブロード・ディバースィファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 新興国国債マザーファンド | 新興国の国債等を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。 |
| | 新興国国債マザーファンド | 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎年8月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 委託会社が、分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 | |

運用報告書（全体版）

新興国国債オープン （1年決算型） （愛称 アトラス（1年決算型））

【2024年8月13日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「新興国国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））」は、2024年8月13日に第17期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) | | 債 券 組入比率 | 債 券 先物比率 | 純 資 産 総 額 |
|-----------------|--------|-----------------|-----------------|---|-----------------|-------------|-------------|--------------|
| | (分配落) | 税 込 分 配 金 | 期 騰 落 中 率 | (参考指数) | 期 騰 落 中 率 | | | |
| | 円 | 円 | % | ポイント | % | % | % | 百万円 |
| 13期(2020年8月12日) | 8,879 | 100 | 2.1 | 249.800 | 2.2 | 82.1 | — | 526 |
| 14期(2021年8月12日) | 9,153 | 100 | 4.2 | 269.446 | 7.9 | 84.5 | — | 539 |
| 15期(2022年8月12日) | 9,813 | 100 | 8.3 | 281.919 | 4.6 | 95.7 | — | 60 |
| 16期(2023年8月14日) | 11,352 | 100 | 16.7 | 333.059 | 18.1 | 90.5 | — | 83 |
| 17期(2024年8月13日) | 11,795 | 100 | 4.8 | 354.410 | 6.4 | 92.3 | — | 88 |

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基準価額 | | GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) | | 債 券 組入比率 | 債 券 先物比率 |
|------------|--------|-------|---|-------|-------------|-------------|
| | 騰 落 率 | 騰 落 率 | (参考指数) | 騰 落 率 | | |
| (期首) | 円 | % | ポイント | % | % | % |
| 2023年8月14日 | 11,352 | — | 333.059 | — | 90.5 | — |
| 8月末 | 11,409 | 0.5 | 335.174 | 0.6 | 90.2 | — |
| 9月末 | 11,149 | △1.8 | 328.845 | △1.3 | 90.4 | — |
| 10月末 | 11,106 | △2.2 | 328.627 | △1.3 | 93.8 | — |
| 11月末 | 11,626 | 2.4 | 343.422 | 3.1 | 94.8 | — |
| 12月末 | 11,529 | 1.6 | 335.821 | 0.8 | 93.1 | — |
| 2024年1月末 | 11,741 | 3.4 | 345.773 | 3.8 | 94.6 | — |
| 2月末 | 11,929 | 5.1 | 352.738 | 5.9 | 95.3 | — |
| 3月末 | 11,999 | 5.7 | 354.860 | 6.5 | 94.1 | — |
| 4月末 | 12,085 | 6.5 | 361.236 | 8.5 | 94.1 | — |
| 5月末 | 12,225 | 7.7 | 365.932 | 9.9 | 93.0 | — |
| 6月末 | 12,377 | 9.0 | 370.140 | 11.1 | 92.6 | — |
| 7月末 | 12,002 | 5.7 | 362.724 | 8.9 | 92.4 | — |
| (期末) | | | | | | |
| 2024年8月13日 | 11,895 | 4.8 | 354.410 | 6.4 | 92.3 | — |

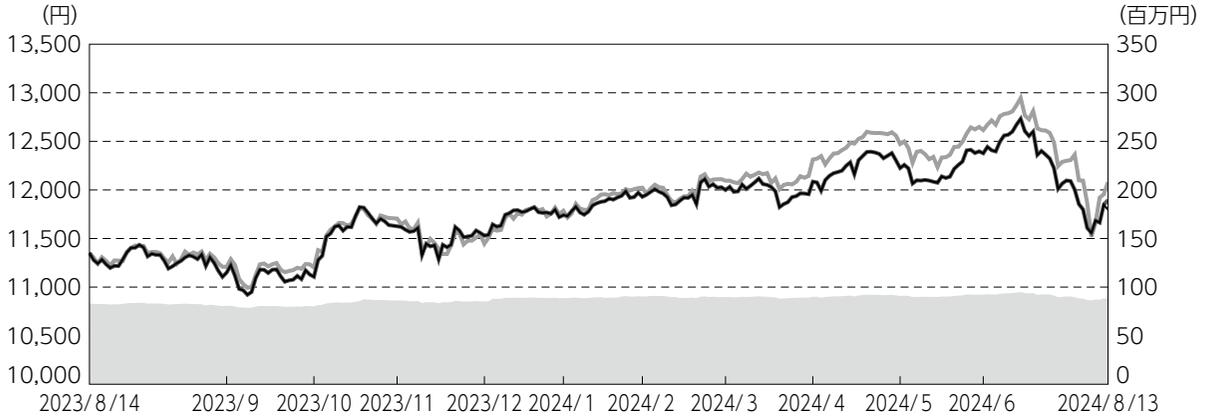
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、J.P. Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2023年8月15日～2024年8月13日）



— 基準価額（左軸）
 — GB I-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）（左軸）
 — 分配金再投資基準価額（左軸）
 ■ 純資産総額（右軸）

期 首：11,352円

期 末：11,795円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率： 4.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、GB I-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2023年8月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・南アフリカ、ペルーなどの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・南アフリカランド、マレーシアリングgitなどの投資通貨が対円で上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・ブラジルレアル、メキシコペソなどが対円で下落したこと。

投資環境

（2023年8月15日～2024年8月13日）

<新興国の国債市場>

新興国の国債市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締め等の長期化観測等を背景に利回り上昇（価格は下落）が先行したものの、2023年末にかけてはFRBの利上げ打ち止めや早期利下げを織り込む動きから、利回りが低下（価格は上昇）しました。また、ブラジルやペルーなど一部の新興国では段階的に利下げが実施され、利回り低下を後押しすることとなりました。しかし、2024年に入ると、FRBの早期利下げ観測の後退とともに、米国債に連動し利回りが上昇しました。また、4月以降は政府の財政政策に対する懸念等を背景に、ブラジルやメキシコなどの国債利回りの上昇が顕著となる局面も見られました。しかし、6月中旬以降は、新興国全般の国債利回り上昇に歯止めがかかるとともに、南アフリカなど国債利回りが低下に転じる国が増えてきました。当期末にかけては、FRBの9月以降の大幅利下げを織り込む動きが強まったことから、新興国の国債利回りは総じて低下基調となりました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）であるJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバースファイド指数の平均利回りは、前期末の6.39%から6.29%へ低下しました。

<為替市場>

為替市場では、新興国への投資資金の流入期待が強まり、2023年11月には新興国通貨が一時全面高となりましたが、年末にかけては日本と主要先進国との内外金利差縮小が円高要因となり、新興国通貨が対円で下落しました。2024年に入ると、米国の早期利下げ観測が後退したことや、日銀が3月のマイナス金利解除後も緩和的な金融政策を維持する姿勢を示したことを受けて、ドル/円の上昇に連動し多くの新興国通貨が対円で上値を試す展開となりました。しかし、7月中旬以降は、日米金利差の縮小観測を背景に対ドル中心に円売りポジションの解消が加速し、円が全面高となる中、新興国通貨が対円で急落しました。ただ、期末にかけては、世界的に株価が戻り歩調となる中、新興国通貨が下げ幅を縮小する動きとなりました。このような環境下、当期間においては、南アフリカランドなど6通貨が対円で上昇、トルコリラなど5通貨が下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年8月15日～2024年8月13日）

<新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

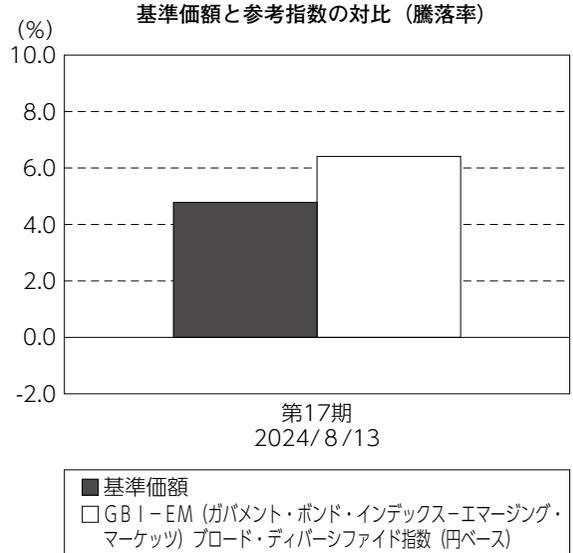
○新興国債マザーファンド

JPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本および円は除いています）に投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。期末時点の新興国国債の投資比率は92.7%、外貨の投資比率は96.0%、投資国上位は、ブラジル、インドネシア、南アフリカ、マレーシアとなっています。前期末からの主な変化は、トルコ、南アフリカの投資比率が上昇する一方、中国、メキシコの投資比率が低下しました。ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.50年となり、前期末と比較し短期化となりました。なお、2023年10月上旬、2024年4月中旬から5月上旬には、短期的に新興国通貨の下落リスクが高まったと判断し、投資通貨に対し一部為替ヘッジ（ファンドの純資産の20%程度）を行いました。為替ヘッジの効果はマイナスとなりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年8月15日～2024年8月13日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を1.6%下回りました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

分配金

（2023年8月15日～2024年8月13日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

| 項目 | 第17期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2023年8月15日～ 2024年8月13日 |
| 当期分配金 | 100 |
| (対基準価額比率) | 0.841% |
| 当期的収益 | 100 |
| 当期的収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 8,527 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期的収益、当期的収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

米国の利下げ局面入りが予想されることから、今後は新興国の多くが緩和的な金融政策を採用する可能性が高いと見ており、各国の国債利回りが低下する展開を想定しています。一方、足元では各国政府の財政規律に対する信認低下が国債利回りの上昇につながるケースが散見されていることから、今後も各国の財政政策に対する注目度が高い局面が続くと考えています。

為替市場では、2024年7月中旬から8月上旬にかけて、円が全面高の展開となりました。しかし、この過程で、投機的な円売りポジションの多くが解消を余儀なくされた可能性が高いと見ています。また、日銀の利上げ後に日経平均株価が暴落するなど金融市場全般が大混乱となったことは、今後の日銀の利上げを一定程度抑制する要因になると判断しています。一方、今後米国が利下げ局面入りすることで、相対的に利回り水準の高い新興国への投資資金の流入増加が期待されます。このため、新興国通貨は対円で底堅く推移する展開を想定しています。

（運用方針）

<新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

主要投資対象である「新興国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は概ね99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○新興国債マザーファンド

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としているJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年8月15日～2024年8月13日）

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|--|--------------------------------|--|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| | 円 | % | |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 168 (80) (77) (10) | 1.426 (0.680) (0.658) (0.088) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他) | 10 (8) (2) (0) | 0.085 (0.071) (0.013) (0.001) | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等 |
| 合 計 | 178 | 1.511 | |
| 期中の平均基準価額は、11,764円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

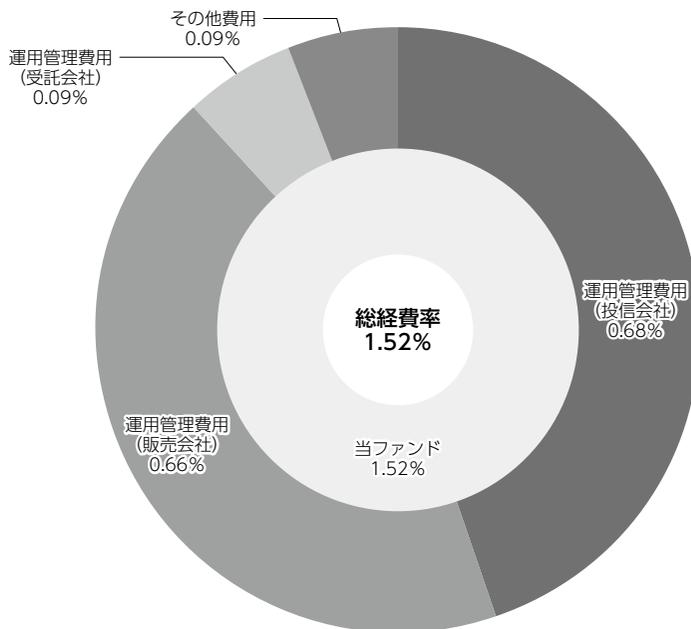
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.52%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年8月15日～2024年8月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 新興国債マザーファンド | 千口 3,369 | 千円 5,758 | 千口 3,596 | 千円 6,099 |

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2023年8月15日～2024年8月13日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2024年8月13日現在）

親投資信託残高

| 銘柄 | 期 首(前期末) | | 当 期 末 | |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 評 価 額 |
| 新興国債マザーファンド | 千口 50,649 | 千円 50,649 | 千口 50,422 | 千円 87,604 |

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2024年8月13日現在）

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|--------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 新興国債マザーファンド | 千円 87,604 | % 98.0 |
| コール・ローン等、その他 | 1,807 | 2.0 |
| 投資信託財産総額 | 89,411 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,422,592千円）の投資信託財産総額（3,563,467千円）に対する比率は96.0%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.7334円、1ブラジルレアル=26.7967円、1ペルーソル=39.3492円、1トルコリラ=4.3981円、1ポーランドズロチ=37.3936円、1ロシアルーブル=1.62円、1マレーシアリンギット=33.1041円、1タイバーツ=4.19円、1インドネシアルピア=0.0093円、1南アフリカランド=8.07円、1オフショア元=20.5173円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年8月13日現在）

| 項 目 | 当 期 末 |
|------------------|-------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 89,411,778 |
| コール・ローン等 | 1,807,614 |
| 新興国債マザーファンド(評価額) | 87,604,155 |
| 未収利息 | 9 |
| (B) 負債 | 1,391,810 |
| 未払収益分配金 | 746,256 |
| 未払解約金 | 302 |
| 未払信託報酬 | 639,408 |
| その他未払費用 | 5,844 |
| (C) 純資産総額(A－B) | 88,019,968 |
| 元本 | 74,625,669 |
| 次期繰越損益金 | 13,394,299 |
| (D) 受益権総口数 | 74,625,669口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 11,795円 |

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,1795円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は73,228,914円、期中追加設定元本額は6,396,034円、期中一部解約元本額は4,999,279円です。

○損益の状況（2023年8月15日～2024年8月13日）

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 152 |
| 受取利息 | 181 |
| 支払利息 | △ 29 |
| (B) 有価証券売買損益 | 5,035,577 |
| 売買益 | 5,229,900 |
| 売買損 | △ 194,323 |
| (C) 信託報酬等 | △ 1,256,806 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 3,778,923 |
| (E) 前期繰越損益金 | 7,363,198 |
| (F) 追加信託差損益金 | 2,998,434 |
| (配当等相当額) | (51,398,696) |
| (売買損益相当額) | (△48,400,262) |
| (G) 計(D+E+F) | 14,140,555 |
| (H) 収益分配金 | △ 746,256 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 13,394,299 |
| 追加信託差損益金 | 2,998,434 |
| (配当等相当額) | (51,429,880) |
| (売買損益相当額) | (△48,431,446) |
| 分配準備積立金 | 12,209,089 |
| 繰越損益金 | △ 1,813,224 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 収益分配金

| 決算期 | 第17期 |
|------------------------------|-------------|
| (a) 配当等収益(費用控除後) | 4,823,311円 |
| (b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後) | 0円 |
| (c) 信託約款に規定する収益調整金 | 51,429,880円 |
| (d) 信託約款に規定する分配準備積立金 | 8,132,034円 |
| 分配対象収益(a+b+c+d) | 64,385,225円 |
| 分配対象収益(1万口当たり) | 8,627円 |
| 分配金額 | 746,256円 |
| 分配金額(1万口当たり) | 100円 |

○分配金のお知らせ

| | |
|----------------|------------------------------|
| 1万口当たり分配金(税引前) | 100円 |
| 支払開始日 | 2024年8月19日(月)までの間に支払いを開始します。 |
| お支払場所 | 取得申込みを取扱った販売会社の本支店 |

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|---------------------|---|
| 資産 | ファンドが保有する財産の合計です。 |
| コール・ローン等 | 金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。 |
| 各種有価証券等(評価額) | 組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。 |
| 未収入金 | 入金が予定されている有価証券の売却代金などです。 |
| 未取配当金 | 入金が予定されている株式の配当金等です。 |
| 未取利息 | 入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。 |
| 負債 | 支払いが予定されている金額の合計です。 |
| 未払収益分配金 | 期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。 |
| 未払解約金 | 支払いが予定されている解約金です。 |
| 未払信託報酬 | 支払いが予定されている信託報酬の額です。 |
| その他未払費用 | 支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。 |
| 純資産総額(資産－負債) | ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。 |
| 元本 | ファンド全体の元本残高です。 |
| 次期繰越損益金 | 純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。 |
| 受益権総口数 | 受益者が保有する受益権口数の合計です。 |
| 1(万)口当たり基準価額 | 1(万)口当たりのファンドの時価です。 |

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

| 項目 | 説明 |
|-----------------|---|
| 配当等収益 | ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。 |
| 受取配当金 | 保有する株式等の配当金等です。 |
| 受取利息 | 債券、コール・ローン等の利息等です。 |
| 有価証券売買損益 | 有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。 |
| 売買益 | 売買益と期末評価益の合計です。 |
| 売買損 | 売買損と期末評価損の合計です。 |
| 信託報酬等 | 信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。 |
| 当期損益金 | 当期における収支合計です。 |
| 前期繰越損益金 | 前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。 |
| 追加信託差損益金 | 受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。 |
| (配当等相当額) | 配当等に相当する額です。 |
| (売買損益相当額) | 売買損益に相当する額です。 |
| 計 | 収益分配前の期中の収支の総合計です。 |
| 収益分配金 | 期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。 |
| 次期繰越損益金 | 翌期に繰り越す損益金の合計です。 |
| 追加信託差損益金 | 翌期に繰り越す追加信託差損益金です。 |
| (配当等相当額) | 配当等に相当する額です。 |
| (売買損益相当額) | 売買損益に相当する額です。 |
| 分配準備積立金 | 翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。 |
| 繰越損益金 | 翌期に繰り越す損益金の額です。 |

新興国国債マザーファンド 第17期 運用状況のご報告

決算日：2024年8月13日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 新興国の国債等を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース） | | 債券組入率 比 | 債券先物率 比 | 純資産額 |
|-----------------|--------|------|---|------|------------|------------|-------|
| | 期騰落 | 中率 | （参考指数） | 期騰落 | | | |
| 13期(2020年8月12日) | 円 | % | ポイント | % | % | % | 百万円 |
| | 12,143 | 3.6 | 249.800 | 2.2 | 82.5 | — | 5,379 |
| 14期(2021年8月12日) | 12,841 | 5.7 | 269.446 | 7.9 | 85.0 | — | 4,820 |
| 15期(2022年8月12日) | 13,883 | 8.1 | 281.919 | 4.6 | 96.1 | — | 3,844 |
| 16期(2023年8月14日) | 16,335 | 17.7 | 333.059 | 18.1 | 91.0 | — | 3,828 |
| 17期(2024年8月13日) | 17,374 | 6.4 | 354.410 | 6.4 | 92.7 | — | 3,563 |

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日のデータです。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) | | 債 券 組 入 率 | 債 券 先 物 率 比 |
|---------------------|-------------|--------|---|--------|-----------|-------------|
| | 騰 落 率 | (参考指数) | 騰 落 率 | | | |
| (期 首) 2023年8月14日 | 円 16,335 | % — | ポイント 333.059 | % — | % 91.0 | % — |
| 8月末 | 16,428 | 0.6 | 335.174 | 0.6 | 90.7 | — |
| 9月末 | 16,070 | △ 1.6 | 328.845 | △ 1.3 | 91.0 | — |
| 10月末 | 16,027 | △ 1.9 | 328.627 | △ 1.3 | 94.4 | — |
| 11月末 | 16,803 | 2.9 | 343.422 | 3.1 | 95.4 | — |
| 12月末 | 16,680 | 2.1 | 335.821 | 0.8 | 93.6 | — |
| 2024年1月末 | 17,015 | 4.2 | 345.773 | 3.8 | 95.0 | — |
| 2月末 | 17,308 | 6.0 | 352.738 | 5.9 | 95.7 | — |
| 3月末 | 17,429 | 6.7 | 354.860 | 6.5 | 94.6 | — |
| 4月末 | 17,577 | 7.6 | 361.236 | 8.5 | 94.6 | — |
| 5月末 | 17,803 | 9.0 | 365.932 | 9.9 | 93.5 | — |
| 6月末 | 18,046 | 10.5 | 370.140 | 11.1 | 93.1 | — |
| 7月末 | 17,519 | 7.2 | 362.724 | 8.9 | 92.8 | — |
| (期 末) 2024年8月13日 | 17,374 | 6.4 | 354.410 | 6.4 | 92.7 | — |

(注) 騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年8月15日～2024年8月13日)



(注) 参考指数は、GB I-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2023年8月14日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・南アフリカ、ペルーなどの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・南アフリカランド、マレーシアリングgitなどの投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ブラジルリアル、メキシコペソなどが対円で下落したこと。

投資環境

(2023年8月15日～2024年8月13日)

＜新興国の国債市場＞

新興国の国債市場では、米連邦準備制度理事会（F R B）による金融引き締め長期化観測等を背景に利回り上昇（価格は下落）が先行したものの、2023年末にかけてはF R Bの利上げ打ち止めや早期利下げを織り込む動きから、利回りが低下（価格は上昇）しました。また、ブラジルやペルーなど一部の新興国では段階的に利下げが実施され、利回り低下を後押しすることとなりました。しかし、2024年に入ると、F R Bの早期利下げ観測の後退とともに、米国債に連動し利回りが上昇しました。また、4月以降は政府の財政政策に対する懸念等を背景に、ブラジルやメキシコなどの国債利回りの上昇が顕著となる局面も見られました。しかし、6月中旬以降は、新興国全般の国債利回り上昇に歯止めがかかるとともに、南アフリカなど国債利回りが低下に転じる国が増えてきました。当期末にかけては、F R Bの9月以降の大幅利下げを織り込む動きが強まったことから、新興国の国債利回りは総じて低下基調となりました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）であるJ Pモルガン社のG B I - E Mブロード・ディバーシファイド指数の平均利回りは、前期末の6.39%から6.29%へ低下しました。

＜為替市場＞

為替市場では、新興国への投資資金の流入期待が強まり、2023年11月には新興国通貨が一時全面高となりましたが、年末にかけては日本と主要先進国との内外金利差縮小が円高要因となり、新興国通貨が対円で下落しました。2024年に入ると、米国の早期利下げ観測が後退したことや、日銀が3月のマイナス金利解除後も緩和的な金融政策を維持する姿勢を示したことなどを受けて、ドル/円の上昇に連動し多くの新興国通貨が対円で上値を試す展開となりました。しかし、7月中旬以降は、日米金利差の縮小観測を背景に対ドル中心に円売りポジションの解消が加速し、円が全面高となる中、新興国通貨が対円で急落しました。ただ、期末にかけては、世界的に株価が戻り歩調となる中、新興国通貨が下げ幅を縮小する動きとなりました。このような環境下、当期間においては、南アフリカランドなど6通貨が対円で上昇、トルコリラなど5通貨が下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年8月15日～2024年8月13日)

J Pモルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本および円は除いていません）に投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。期末時点の新興国国債の投資比率は92.7%、外貨の投資比率は96.0%、投資国上位は、ブラジル、インドネシア、南アフリカ、マレーシアとなっています。前期末からの主な変化は、トルコ、南アフリカの投資比率が上昇する一方、中国、メキシコの投資比率が低下しました。ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.50年となり、前期末と比較し短期化となりました。なお、2023年10月上旬、2024年4月中旬から5月上旬には、短期的に新興国通貨の下落リスクが高まったと判断し、投資通貨に対し一部為替ヘッジ（ファンドの純資産の20%程度）を行いました。為替ヘッジの効果はマイナスとなりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年8月15日～2024年8月13日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としている J P モルガン社の「G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)」の騰落率とほぼ同程度となりました。

今後の運用方針**(投資環境の見通し)**

米国の利下げ局面入りが予想されることから、今後は新興国の多くが緩和的な金融政策を採用する可能性が高いと見ており、各国の国債利回りが低下する展開を想定しています。一方、足元では各国政府の財政規律に対する信認低下が国債利回りの上昇につながるケースが散見されていることから、今後も各国の財政政策に対する注目度が高い局面が続くと考えています。

為替市場では、2024年7月中旬から8月上旬にかけて、円が全面高の展開となりました。しかし、この過程で、投機的な円売りポジションの多くが解消を余儀なくされた可能性が高いと見ています。また、日銀の利上げ後に日経平均株価が暴落するなど金融市場全般が大混乱となったことは、今後の日銀の利上げを一定程度抑制する要因になると判断しています。一方、今後米国が利下げ局面入りすることで、相対的に利回り水準の高い新興国への投資資金の流入増加が期待されます。このため、新興国通貨は対円で底堅く推移する展開を想定しています。

(運用方針)

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債 (米国、ドイツ、日本) や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としている J P モルガン社の G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 8 月15日～2024年 8 月13日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------------|------------|------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 12 (12) | 0.072 (0.071) | (a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金銭信託支払手数料等 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | |
| 合 計 | 12 | 0.072 | |
| 期中の平均基準価額は、17,058円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2023年 8 月15日～2024年 8 月13日)

| 公社債 | | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|---------|-------|-------|----------------------|-------------------------|
| 外 | メキシコ | 国債証券 | 千メキシコペソ 23,466 | 千メキシコペソ 26,602 |
| | ブラジル | 国債証券 | 千ブラジルリアル 2,206 | 千ブラジルリアル 2,021 |
| | トルコ | 国債証券 | 千トルコリラ 38,753 | 千トルコリラ — (2,000) |
| | ポーランド | 国債証券 | 千ポーランドズロチ 9,143 | 千ポーランドズロチ 10,362 |
| | マレーシア | 国債証券 | 千マレーシアリングット 2,349 | 千マレーシアリングット 2,412 |
| | 国 | 南アフリカ | 国債証券 | 千南アフリカランド 30,641 |
| 中国オフショア | | 国債証券 | 千オフショア元 — | 千オフショア元 14,628 |

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月15日～2024年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 | | | 末 | | | | |
|---------------|--------------------------|--------------------------|---------------|----------|---------------------|-------------------|---------|---------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 組 入 比 率 | う ち B B 格 以下組入比率 | 残 存 期 間 別 組 入 比 率 | | |
| | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | | | | 5 年 以 上 | 2 年 以 上 | 2 年 未 満 |
| メ キ シ コ | 千メキシコペソ 41,000 | 千メキシコペソ 36,802 | 千円 284,612 | % 8.0 | % — | % 8.0 | % — | % — |
| ブ ラ ジ ル | 千ブラジルレアル 19,200 | 千ブラジルレアル 18,067 | 484,160 | 13.6 | 13.6 | 9.2 | 4.3 | — |
| ペ ル ー | 千ペルーソル 9,201 | 千ペルーソル 9,752 | 383,767 | 10.8 | — | 10.8 | — | — |
| ト ル コ | 千トルコリラ 40,000 | 千トルコリラ 39,837 | 175,207 | 4.9 | 4.9 | — | 1.7 | 3.3 |
| ポ ー ラ ン ド | 千ポーランドズロチ 7,000 | 千ポーランドズロチ 7,415 | 277,287 | 7.8 | — | 7.8 | — | — |
| ロ シ ア | 千ロシアルーブル 165,000 | 千ロシアルーブル 0.00016 | 0.0002592 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| マ レ ー シ ア | 千マレーシアリンギット 11,800 | 千マレーシアリンギット 12,053 | 399,014 | 11.2 | — | 6.9 | — | 4.3 |
| タ イ | 千タイバーツ 45,000 | 千タイバーツ 44,872 | 188,016 | 5.3 | — | — | 5.3 | — |
| イ ン ド ネ シ ア | 千インドネシアルピア 48,000,000 | 千インドネシアルピア 50,575,160 | 470,348 | 13.2 | — | 12.2 | — | 1.0 |
| 南 ア フ リ カ | 千南アフリカランド 64,000 | 千南アフリカランド 57,734 | 465,918 | 13.1 | 13.1 | 13.1 | — | — |
| 中 国 オ フ シ ョ ア | 千オフショア元 8,000 | 千オフショア元 8,550 | 175,437 | 4.9 | 4.9 | — | 4.9 | — |
| 合 計 | — | — | 3,303,772 | 92.7 | — | 67.9 | 16.2 | 8.6 |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B 格以下組入比率には、無格付を含みます。

新興国国債マザーファンド

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘柄 | 当期 | | | | | 償還年月日 |
|---------|------------------------|-------|-------------|-------------|-----------|------------|
| | 利率 | 額面金額 | 評価額 | | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| メキシコ | | % | 千メキシコペソ | 千メキシコペソ | 千円 | |
| 国債証券 | MEXICAN BONOS 7.5 | 7.5 | 24,000 | 21,214 | 164,058 | 2033/5/26 |
| | MEXICAN BONOS 7.75 | 7.75 | 17,000 | 15,588 | 120,553 | 2031/5/29 |
| 小計 | | | | | 284,612 | |
| ブラジル | | | 千ブラジルレアル | 千ブラジルレアル | | |
| 国債証券 | BRAZIL NTN-F 10 | 10.0 | 6,000 | 5,771 | 154,670 | 2029/1/1 |
| | BRAZIL NTN-F 10 | 10.0 | 10,800 | 10,079 | 270,089 | 2033/1/1 |
| | BRAZIL NTN-F 10 | 10.0 | 2,400 | 2,216 | 59,401 | 2035/1/1 |
| 小計 | | | | | 484,160 | |
| ペルー | | | 千ペルーソル | 千ペルーソル | | |
| 国債証券 | PERU B. SOBERANO 7.3 | 7.3 | 9,201 | 9,752 | 383,767 | 2033/8/12 |
| 小計 | | | | | 383,767 | |
| トルコ | | | 千トルコリラ | 千トルコリラ | | |
| 国債証券 | TURKIYE GOV BOND 31.08 | 31.08 | 13,000 | 13,371 | 58,807 | 2028/11/8 |
| | TURKIYE GOV BOND 37 | 37.0 | 27,000 | 26,465 | 116,399 | 2026/2/18 |
| 小計 | | | | | 175,207 | |
| ポーランド | | | 千ポーランドズロチ | 千ポーランドズロチ | | |
| 国債証券 | POLAND GOVT BOND 6 | 6.0 | 7,000 | 7,415 | 277,287 | 2033/10/25 |
| 小計 | | | | | 277,287 | |
| ロシア | | | 千ロシアルーブル | 千ロシアルーブル | | |
| 国債証券 | RUSSIA-OFZ 7.05 | 0.0 | 165,000 | 0.00016 | 0.0002592 | 2028/1/19 |
| 小計 | | | | | 0.0002592 | |
| マレーシア | | | 千マレーシアリンギット | 千マレーシアリンギット | | |
| 国債証券 | MALAYSIA GOVT 3.882 | 3.882 | 4,600 | 4,619 | 152,932 | 2025/3/14 |
| | MALAYSIA GOVT 3.885 | 3.885 | 5,000 | 5,087 | 168,402 | 2029/8/15 |
| | MALAYSIA GOVT 4.642 | 4.642 | 2,200 | 2,346 | 77,680 | 2033/11/7 |
| 小計 | | | | | 399,014 | |
| タイ | | | 千タイバーツ | 千タイバーツ | | |
| 国債証券 | THAILAND GOVT 2.125 | 2.125 | 45,000 | 44,872 | 188,016 | 2026/12/17 |
| 小計 | | | | | 188,016 | |
| インドネシア | | | 千インドネシアルピア | 千インドネシアルピア | | |
| 国債証券 | INDONESIA GOV T 10 | 10.0 | 4,000,000 | 4,009,640 | 37,289 | 2024/9/15 |
| | INDONESIA GOV T 7 | 7.0 | 24,000,000 | 24,328,320 | 226,253 | 2030/9/15 |
| | INDONESIA GOV T 8.25 | 8.25 | 20,000,000 | 22,237,200 | 206,805 | 2036/5/15 |
| 小計 | | | | | 470,348 | |
| 南アフリカ | | | 千南アフリカランド | 千南アフリカランド | | |
| 国債証券 | REP SOUTH AFRICA 8 | 8.0 | 12,000 | 11,307 | 91,252 | 2030/1/31 |
| | REP SOUTH AFRICA 8.25 | 8.25 | 34,000 | 30,627 | 247,164 | 2032/3/31 |
| | REP SOUTH AFRICA 8.875 | 8.875 | 18,000 | 15,799 | 127,501 | 2035/2/28 |
| 小計 | | | | | 465,918 | |
| 中国オフショア | | | 千オフショア元 | 千オフショア元 | | |
| 国債証券 | CHINA GOVT BOND 3.82 | 3.82 | 8,000 | 8,550 | 175,437 | 2027/11/2 |
| 小計 | | | | | 175,437 | |
| 合計 | | | | | 3,303,772 | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 利率は、期末における利率です。

○投資信託財産の構成

(2024年8月13日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公 社 債 | 千円 3,303,772 | % 92.7 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 259,695 | 7.3 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 3,563,467 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (3,422,592千円) の投資信託財産総額 (3,563,467千円) に対する比率は96.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.7334円、1ブラジルレアル=26.7967円、1ペルーソル=39.3492円、1トルコリラ=4.3981円、1ポーランドズロチ=37.3936円、1ロシアルーブル=1.62円、1マレーシアリンギット=33.1041円、1タイバーツ=4.19円、1インドネシアルピア=0.0093円、1南アフリカランド=8.07円、1オフショア元=20.5173円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月13日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|--------------------|
| (A) 資産 | 円 3,563,467,036 |
| コール・ローン等 | 183,089,725 |
| 公社債(評価額) | 3,303,772,310 |
| 未収利息 | 67,583,924 |
| 前払費用 | 9,021,077 |
| (B) 純資産総額(A) | 3,563,467,036 |
| 元本 | 2,051,061,768 |
| 次期繰越増益金 | 1,512,405,268 |
| (C) 受益権総口数 | 2,051,061,768口 |
| 1万口当たり基準価額(B/C) | 17,374円 |

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,7374円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,343,629,460円、期中追加設定元本額は3,369,451円、期中一部解約元本額は295,937,143円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

新興国債オープン (毎月決算型) (愛称 アトラス (毎月決算型))
2,000,639,208円
新興国債オープン (1年決算型) (愛称 アトラス (1年決算型))
50,422,560円

○損益の状況 (2023年8月15日~2024年8月13日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|------------------|
| (A) 配当等収益 | 円 248,662,319 |
| 受取利息 | 248,680,350 |
| その他収益金 | 14,314 |
| 支払利息 | △ 32,345 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 13,125,057 |
| 売買益 | 154,160,196 |
| 売買損 | △ 167,285,253 |
| (C) その他費用等 | △ 2,678,243 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 232,859,019 |
| (E) 前期繰越増益金 | 1,484,634,661 |
| (F) 追加信託差損益金 | 2,389,431 |
| (G) 解約差損益金 | △ 207,477,843 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 1,512,405,268 |
| 次期繰越増益金(H) | 1,512,405,268 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。